

暮らしの視点(10)

## 医療・健康情報の入手と活用

～高齢層へのインターネット利用の広がりがもたらすもの～

ライフデザイン研究部 主任研究員 北村 安樹子

### 1. 高齢者へのインターネット利用の広がり

新型コロナウイルスの終息を目指し、各自治体や政府による65歳以上の高齢者へのワクチン接種が開始されている。今回の募集・予約をめぐることは、多くの自治体でインターネットを利用した申し込みシステムが準備されたことも注目された。

本稿では、高齢者におけるインターネット利用の広がりが、医療・健康情報の入手行動にどう影響するのかについて考えてみたい。

### 2. インターネットを利用した高齢者の医療・健康情報の入手実態

少し前のデータになるが、2017年末に内閣府が行った「高齢者の健康に関する調査」では、全国55歳以上の男女を対象にインターネットによる医療や健康情報の入手状況についてたずねている。その結果をみると、回答者全体の約7割が「インターネットは使わない」と答えている（図表1）。高齢層のインターネット利用率が近年急速に高まってきたことをふまえれば、現在は医療や健康に関する情報を入手する際に、インターネットを使わないとする人がここまで多いとは考えにくい。しかしながら、この調査が行われた2017年時点では、それほど多くはなかったことをあらためて知ることができる。

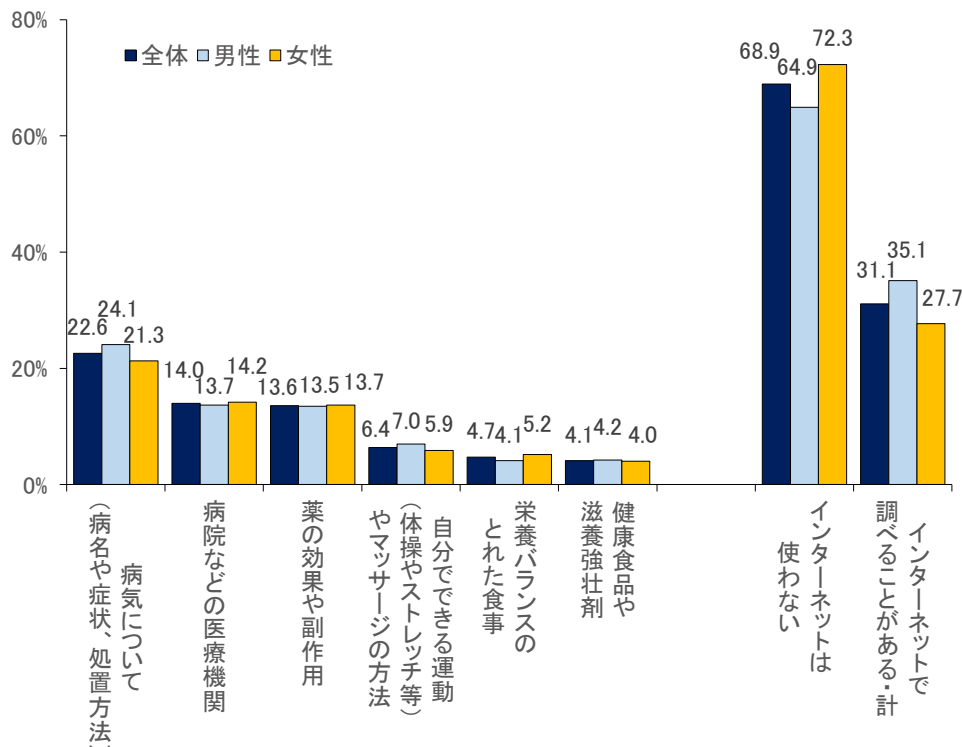
一方、インターネットで情報を入手していると答えた人がどのような情報を入手しているのかをみると、最も多くあげられたのは「病気について（病名や症状、処置方法）」（22.6%）であり、「病院などの医療機関」（14.0%）、「薬の効用や副作用」

（13.6%）の順に多くあげられている。病気や医療機関、薬に関する情報を入手している人が比較的多い一方、「自分でできる運動（体操やストレッチ等）やマッサージの方法」（6.4%）、「栄養バランスのとれた食事」（4.7%）、「健康食品や滋養強壮剤」（4.1%）などの健康関連情報についてはいずれも1割に満たない。

なお、この調査が行われた時点では、新型コロナウイルスをめぐる現在のような社会状況は想定されておらず、病気や医療機関等に関する情報を入手している人の方が、病気予防や健康づくりに関する情報を入手している人に比べ多かった。インターネット利用が浸透し、コロナ禍という経験を経た現在とでは、この年代の人々が求める情報の内容に変化が生じている可能性もある。虚弱化したり、介護が必要な状況を迎えてからも自宅で生活する人が増えるなかで、自身の健康を維持したり、家族の介

護を行う際に、これらの情報をよりよい生活につなげていけるかどうかは重要だろう。

図表 1 医療や健康に関する情報のインターネットでの入手(全体、性別)＜複数回答＞



\*1: 調査対象者は全国の 55 歳以上の男女 3,000 人(施設入所者は除く)。設問文は「あなたは、医療や健康に関する情報をインターネットで調べることがありますか。インターネットで調べることがある方は、どのような情報を得ているか、該当するものをいくつでも選択してください。インターネットで調べることがない方は「インターネットは使わない」を選択してください。「その他」は掲載省略。

資料: 内閣府「高齢者の健康に関する調査」(2017 年 12 月 16 日～1 月 14 日実施)より作成。

### 3.医療・健康情報の入手と行動

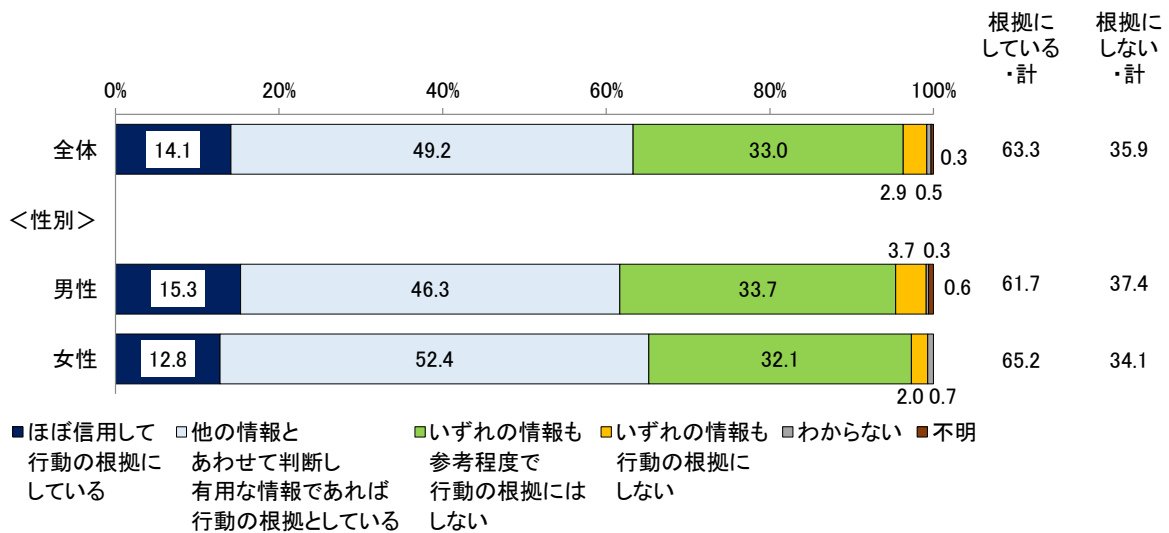
では、医療や健康に関する情報をインターネットで調べることがあると答えた人では、それらの情報をどの程度実際の行動の根拠にしているのだろうか。この点についての回答をみると、「他の情報と合わせて判断し、有用な情報であれば行動の根拠としている」(49.2%) とした人が最も多く、「いずれの情報も参考程度で行動の根拠にはしない」(33.0%) がこれに続いている(図表 2)。

一方、「ほぼ信用して行動の根拠にしている」(14.1%) はこれらに比べかなり低いものの、『根拠にしている』の合計割合は先の「他の情報と合わせて判断」する人と合わせれば 6 割強となる。インターネットで入手したいずれの情報も行動の『根拠にしない』とした人は、情報入手者のおよそ 3 人に 1 人とどまっている。

高齢世代へのインターネット利用がさらに広がれば、医療や健康に関するさまざまな情報をインターネットを通じて自ら調べる人も今より増える可能性がある。高齢者

には、多様な情報のなかから正しい情報を得る力を身につけることが、より一層求められることになる。また、それらを他の情報とあわせて総合的に判断して実際の行動を行ったり、自身のライフスタイルに取り入れていく視点をもつことも重要になるだろう。

図表 2 インターネットで入手した医療や健康情報をどの程度行動の根拠にするか(全体、性別)



\*1: 回答者は図表 1 で医療や健康に関する情報をインターネットで調べることがあると答えた人。設問文は「あなたは、インターネットで得た情報のうち、どの程度の情報を行動の根拠にしていますか」。

資料: 内閣府「高齢者の健康に関する調査」(2017年12月16日～1月14日実施)より作成。

#### 【参考文献】

- 1) 澤岡詩乃「第3章 調査結果の解説: ネットを介したヘルスリサーチを行う高齢者の実際の健康行動」内閣府「平成29年高齢者の健康に関する調査結果(全体版)」: 122-124.  
[https://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h29/zentai/pdf/sec\\_3.pdf](https://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h29/zentai/pdf/sec_3.pdf)